

教科(科目)	家庭(家庭基礎)	単位数	2	学年	1年
使用教科書	教育図書「家庭基礎 グローバル&サステイナビリティ」				
副教材	教育図書「データ&グラフ 生活ガイド」				

1 学習目標

人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族や家庭生活の在り方、乳幼児と高齢者の生活と福祉について理解し、男女が相互に協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について認識できるようにする。

家族の食生活、衣生活及び住生活に必要な基礎的な知識と技術を習得し、家族の生活を健康で安全かつ快適に営むことができるようにする。

家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を習得するとともに、現代の消費生活の課題について認識し、消費者として責任を持って行動できるようにする。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動	時間	評価方法
4	人とかかわって生きる ○自分らしい生き方と家族	教科書	自分を見つめる 自立した生き方、共に生きる人生 共に生きる家族 家族に関する法律 私たちの生活を支える労働と生活時間	6	授業への取り組み レポート等、提出物 被服製作実習への取り組み 定期考査
5	生活をつくる ○衣生活をつくる		人と衣服のかかわり 衣服の素材をみてみよう	6	
6			衣生活の管理 衣生活と資源・環境 すべての人が快適な衣生活を	8	
7	○食生活をつくる		1学期期末考査 私たちの食生活	6	
8・9			栄養と食品のかかわり 日常食の調理実習	8	授業への取り組み レポート等、提出物 定期考査 調理実習への取り組み
10			食品の選び方と安全 食事の計画と調理 これからの食生活を考える	8	
11	人とかかわって生きる ○子どもとかかわる		子どもを知る 発達のすばらしさ 子どもの生活 親になることを考えよう すこやかに育つ環境	7	
12	○高齢者とかかわる		2学期期末考査 高齢社会に生きる私たちの暮らし 高齢者を知る	4	

	ホームプロジェクト		自分の食生活から課題を見出し、解決方法を考え、計画・実践・反省・評価を行う。		課題提出
1	○社会とかかわる 生活をつくる ○住生活をつくる		豊かな高齢期を迎えるしくみ 支え合う暮らしとは 私たちの社会福祉 地域社会の一員としてのボランティア活動 人と住まいのかかわり	4	授業への取り組み レポート等、提出物 定期考査
2	消費者として自立する ○消費行動を考える 学校家庭クラブ活動		住まいを計画する 健康的な住まい環境 安全な住まい環境 これからの住まいを考える 私たちのくらしと環境問題 持続可能な社会をめざして 国や地域の社会的支援について理解する。 3学期期末考査	4	
3	○経済的に自立する		私たちができること	3	

合計時数×1.1／単位数＝ 35

4 課題・提出物等

計 64 時間(55分授業)

- ・課題や作品等を提出させます。
- ・各実習の記録レポートを提出させます。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

以上の観点を踏まえ

- ・定期考査(期末考査)
- ・レポート、提出物
- ・授業態度、実習態度、出席状況
などから総合的に判断します。

6 担当者からの一言

家庭科の学習は、人が健康で幸せに生きるためのものです。授業で学んだことを自らの生活の中で実践していくことが重要です。主体的な生き方をしていきましょう。